もしミニバックホーの調子が悪い場合、次の表により診断し、適切な処置をしてください。
わからない場合は購入されたクボタ建設機械販売会社または認定工場にご相談ください。

エンジン関係

現状	原因	処置
始動困難な場合	• 燃料が流れない。	• 燃料タンクを点検し、沈殿している不純物や水分を除く。 • 燃料フィルタを点検し、汚れていれば交換する。
	• 燃料送油系統に、空気や水が混入している。	• パイプおよび締付バンドを点検し、損傷があれば新品と交換または補修しておく。 • エア抜きをする。 （詳細は燃料系統のエア抜きのしかた（86 ページ）を参照）
	• 寒冷時にオイル粘度が高く、エンジン自体の回転が重い。	• ラジエータに熱湯をそそぐ。
	• バッテリがあがり気味で、回転力が弱くなって圧縮を越す勢いがない。	• バッテリを充電する。
出力不足の場合	• 燃料不足。	• 燃料を補給する。
	• エアクリーナの目詰まり。	• エレメントを掃除する。
突然停止した場合	• 燃料不足。	• 燃料を補給する。
排気色が異常に黒い場合	• 燃料が悪い。	• 良質の燃料に交換する。
	• エンジンオイルの入り過ぎ。	• 正規のオイル量にする。
水温警告ランプが点灯した場合	• ウォータポンプのシール不良	• 交換する。
	• ファンベルトの伸びまたは切断。	• 調整または交換する。
	• サーモスタットの不良。	• 交換する。
	• 冷却水の不足。	• 規定量まで補給する。
	• ラジエータネット、ラジエータフィンのゴミ詰まり。	• 清掃する。
	• ヘッド、クランクケースの錆で冷却水が汚れている。	• 冷却水交換、防錆剤投入する。
	• ラジエータキャップの不良（蒸発）。	• 交換する。
	• 冷却水通路の腐食。	• 洗浄する。
	• 連続過負荷運転。	• 負荷を軽減する。
	• ヘッドガスケットの破損（冷却水の減少）。	• 交換する。
	• エンジンオイルの不足。	• 正規のオイル量にする。
	• 燃料噴射時期の不良。	• 調整する。
	• 低級な燃料を使用している。	• 指定燃料に交換する。

油圧関係

現状	原因	処置
作業機（ブーム、アーム、バケット）旋回、走行、ブレードの力不足、速度が遅い、または、動かない	• 作動油量の不足。	• 作動油を補給する。
	• ホース、配管継手部よりの油漏れ。	• 増締めまたは交換する。
	• エアの混入。	• エア抜きする。
旋回を操作しても作動しない	• 旋回ロックピンでロックされている。	• 旋回ロックピンのレバーを引き上げ、ロック解除する。

走行関係

現状	原因	処置
うまく走行しない	・ クローラに石や異物がかみこんでいる。	・ 除去をする。
	・ クローラの張りすぎ、ゆるみすぎ。	・ 調整をする。